

仙台市太白山自然観察の森 情報誌2025年4月号

森のおくりもの4

NO.403 The Gift from Woods

スジグロシロチョウ（科）



春の陽気に誘われて、カタクリは咲き誇りチョウたちが舞い踊る季節となりました。観察の森では「カタクリの広場」や「蝶の野原」に群生するカタクリを楽しみにされている方も多いはず、花畑を眺めながら穏やかに過ごされるのはいかがでしょうか。花を訪れるチョウたちの中で、スジグロシロチョウの出現率は高く、観察にもオススメです。 【館長：佐藤由美】

『千変百様（せんぺんひやくよう）』

昨年までは暖冬傾向だったので、植物の開花時期が早過ぎでしたが、今年は寒波の影響で寒い日が多かったせいか、久し振りにゆっくりとした早春らしい推移を感じました。早春といえばセリバオウレンで、この花が咲きだすと春が来たと感じます。今年も白い小さな花をたくさん林床に咲かせました。あっちにもこっちにもというくらい、辺り一面にあります。小さくて目立たないので、急ぎ足やぼんやりしていたら気づかず通り過ぎてしまうかもしれません。

この花の魅力は、遠目で見ただけではわかりません。近づくと星が瞬いているように見えます。咲き始めは、おしべの先の葯が粒々で特に可憐です。花に近づいて観察していると、雑巾のような臭いに気づきます。他の花が咲く前にいち早く咲いて、ハエなどを呼び寄せて受粉するという戦略なのでしょう。

雄花と雌花が異なる株に咲く雌雄異株という性質の植物なのですが、雌雄同株の株もあります。雄株には雄花が、雌株には雌花が、雌雄同株の株には両性花が咲きますが、雌花は稀でなかなかみつけられません。1つの株に2～3個の花をつけますが、同じ株に雄花と両性花がつくこともあります。両性花でも、めしべの色が緑のものと赤いもの、よく見ると退化しためしべの痕跡がある雄花もあります。葉や茎にも緑と赤の個体差があり、多様性に富んでいます。花が散った後に風車のような形の実の姿に変化するのもおもしろいです。

様々な違いや変化していく様子から「千変百様」という言葉を感じました。「様々な様子や状態。場面、事態、様子などが次々と変化していくこと」です。種から発芽した若葉はどんな形か、どのくらいで花が咲くのかなど、調べてもわからないこともあり、小さな花ですが、多くの興味深さを感じさせます。

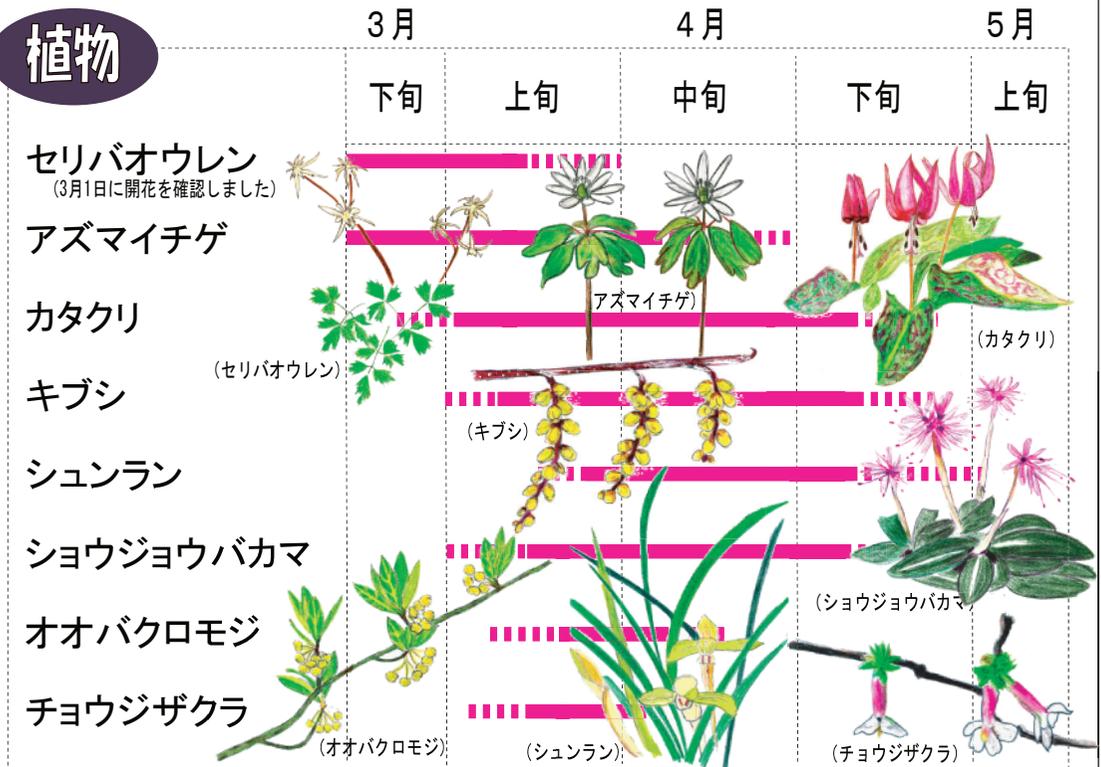
4月は、次から次へと自然の様子が変化していきます。セリバオウレンの例のように変化の推移やよく見てじっくり観察すると、ただ眺めるだけでは知り得ないことがわかるかもしれません。

【レンジャー：新田隆一】



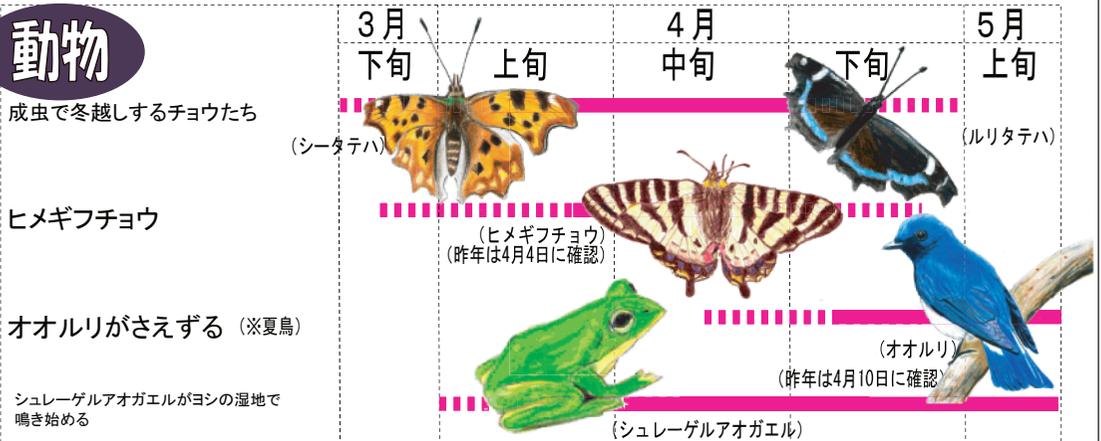
4月の生物ごよみ

植物



カタクリの開花が『蝶の野原』で3月23日に確認されました。昨年と比べ、8日ほど遅い開花になります。3月後半は一気に暖かさがまし、ほかにもタチツボスミレ、ナガハシスミレ、マキノスミレ、シュンラン、ショウジョウバカマなど一気に咲きはじめました。特に4月は1年間で一番植物の開花情報が多く、今年の4月だけで約150種類の植物が確認されています。このよき季節、自然観察の森に是非お越しください。 【レンジャー：齋 正宏】

動物



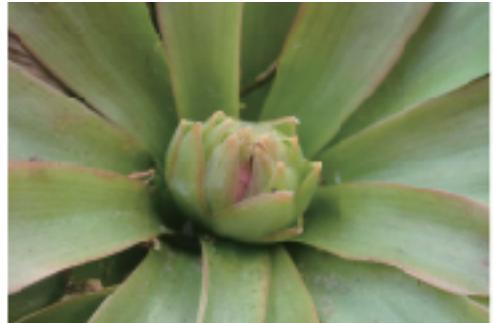
※夏鳥 春に東南アジアなどの越冬地から日本に渡ってきて繁殖し、秋には帰っていく鳥。日本にいる期間は種類によって違うが3月～10月の間になる。
 ※多年草 同じ株から翌年以降も花を咲かせる植物のこと。また年を重ねるごとに大きい株に成長する特徴がある。

森の「あれこれ」



「いよいよ春」

“春を探す”テーマの観察会でのこと。たっぷりと日の光のあたる斜面で四方に丸く広げた細い葉がいくつもへばりつき、その一つにつぼみが。近づいてよく観察すると赤い色がこぼれていて歓声があがりました。「ショウジョウバカマ」です。



「“しょうじょう”って何？ハエのこと」と聞かれ苦笑い。

ショウジョウ（猩々）とはもともと中国に伝わる赤い顔をした想像上の動物のようです。バカマは袴（はかま）、つまり袴をはいた赤い顔のいきものに見立てた名前だったのですね。昔の人はどんな思いでこの名を呼んでいたのでしょうか（下の写真参照、名の由来には所説あります）。

アップで見ると真ん中の長いめしべ、濃い紫のおしべと花びらがワンセットの花が数個集まって存在感がありきれいです。きっとチョウやハナアブなどいろいろな昆虫を見られるでしょう。



【レンジャー：木田秀幸】

森は生きている



① 長い尾羽で、ぬいぐるみのような可愛らしさが特徴のエナガです、巷で人気のシマエナガと同じ仲間です。② 国の特別天然記念物のニホンカモシカですが、シカではなくウシの仲間です、カタクリなどを食べに来ます。③ 池のほとりにあるメレンゲのようなものはシュレーゲルアオガエルの卵です、おしっこと体液でできてます、雨が降ると流れ出して、水中でオタマジャクシになります。



今年の4月の仙台の予想平均気温は、平年並みか高いそうです、去年は1946年統計開始以降4月としては第1位の高温で、14.5℃でした。おそらく今年もそれぐらいになるかなと思いますが、自然の中では昆虫が活動する気温が10℃以上、植物の花が咲くための最低気温が14.8℃だそうです、森も賑やかになりそうですね。

【レンジャー：菅井 潤】

今月のイベント & お知らせ

◆『春の森の葉っぱあそび』

- ・ 4月26日(土) 10:00~12:00 小学生以上 10名
- 【内容】葉っぱなどの自然の素材を使ったあそびで春の森に親しみます
- 【申込み】4月16日(水) 必着でEメール、FAX、往復はがきにて(抽選)

◆『はじめてバードウォッチング』

- ・ 4月29日(火・祝) 10:00~12:00 どなたでも 10名
- 【内容】バードウォッチング初心者のための観察会です
- 【申込み】4月18日(日) 必着でEメール、FAX、往復はがきにて(抽選)

◆『春の秋保二口林道ウォーキング』

- ・ 5月10日(土) 9:30~15:00 18歳以上 20名
- 【内容】講師の解説を聞きながら二口林道を歩き、溪谷の自然を楽しみます
- 【申込み】4月25日(土) 必着でEメール、FAX、往復はがきにて(抽選)

◆『おはよう野鳥かんさつ』

- ・ 5月17日(土) 6:30~8:00 どなたでも 20名
- 【内容】講師の解説を聞きながら野鳥を観察します
- 【申込み】5月10日(土) 必着でEメール、FAX、往復はがきにて(抽選)

※申込み専用メールアドレス taihaku@sendai-park.or.jp 詳しくはQRコードを読み取り



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



毎週
日曜は

『ガイドウォーク』の日!

開催日: 6日, 13日, 20日, 27日

開催時間: 10:00~11:30, 13:30~15:00

※4月~11月は午前と午後実施します

申し込み不要。時間までにセンター前へお集まり下さい。

4月の休館日

7日、14日、21日

28日

※月曜日が祝祭日の場合、翌日以降の平日が休館

宮城交通バスの場合

- ① 仙台駅 乗車時間 約40分
 - ② 長町駅東口 乗車時間 約30分
 - ③ 八木山動物公園駅 乗車時間 約10分
- 【行先】①②③ 「太白団地經由山田自由ヶ丘車庫行」乗車
(※③のみ乗車可「太白団地、山田自由ヶ丘經由仙台南ニュータウン行」)
いずれも 公営アパート前 下車→ 徒歩15分

お車の場合

国道286号線の山田交差点から太白団地方面へ。
道々の案内板に従って約10分で駐車場へ。徒歩5分でセンター

観察の森へのアクセス



自然観察の森の最新情報、
「森のおくりもの」バックナンバーは
Webで!

2025年4月号

発行: (公財) 仙台市公園緑地協会

編集: 仙台市太白山自然観察の森 自然観察センター

〒982-0251 仙台市太白区茂庭字生出森東36-63

TEL: 022-244-6115 FAX: 022-244-6133

「杜のひろば」URL: <http://www.sendai-park.or.jp/web/info/taihakusan/index.html>